



## 総合的な企業評価

(3月のごあいさつ)

平成21年3月1日(日)

**財務**による評価が、**企業評価の中心**であることは疑いの余地はない。

しかしながら、財務は結果的な面が主であり、企業の活動時点及び将来の評価という点では充分とは言えない。従って、財務で表現できない部分も加えた**総合的な企業評価**が必要になる。

先ず、BSC(バランススコアカード)の視点を加えることである。

財務の視点はすでにあるので、企業の売上を支える市場や業務プロセスの安全性、効率性、そして人的資源の活用度など、即ち**顧客**(市場)、**業務**(プロセス)、**従業員**(人間)の視点の追加である。

更に進めて、企業の継続性に欠くことのできない**CSR**(企業の社会的責任)の視点が加わると企業の価値はもっと明確になる。

市場と人間はBSCで済んでいるので、企業の存立基盤である社会と企業の経営資源の源である地球、即ち**社会と環境**の視点を加え、そして**企業ガバナンス**で締めくくれば企業の評価は総合的なものとなる。

総合すると次のような図となり、これなら安心して企業評価を利用出来るような気がする。

